

データの説明

データ番号 (コモンズセンターで記入します)	
タイトル	発展途上地域のメガシティにおける土地利用・被覆変化のデータベース構築と公開
作成者	代表者:村山祐司 Ronald C. ESTOQUE, Shyamantha SUBASINGHE, Hao HOU, Hao GONG, Matamyo SIMWANDA, Xinmin ZHANG
問い合わせ先	生命環境系 村山祐司 (電話:4211)
概要(データの内容や作成方法)	<p>発展途上国のメガシティを対象に、地理情報システム (GIS) とリモートセンシング (RS) の技術を駆使して衛星画像データを分析し、メガシティごとに、土地利用・被覆統計データベースを構築した。時系列で空間的土地利用図を作成し、都市化の動態が追尾できるようにした。凡例は、高密度市街地、低密度市街地、裸地、耕作地、草地、森林、水域、その他。成果物はWeb-GIS化して公開した。昨年度は、バンコック、北京、ダッカ、マニラを始め、主にアジア圏のメガシティを対象としたが、本年度はアフリカ諸国も加えた。今年度は17都市のデータベースを作成した。</p> <p>本事業の意義：発展途上諸国におけるメガシティの空間構造を定量的に把握するとともに、メガシティの成長の速度を空間的に捉えることが可能になる。データベースを解析すると、同一基準で、発展途上諸国の都市の発展段階を比較検討できる。センサスなど社会経済的統計との整合性や、人口の推定なども可能になるので、都市計画や地域政策に貢献できると考えられる。</p>
更新履歴(版・ファイル名・年月日)	新規に作成
データの形式	原データはtifファイル およびKmlファイルで利用可能
データのサイズ	土地利用KMLデータ:5.51MB 土地利用データ:1.48GB

利用上の注意(メタデータの利用など)	特になし
関連報告書・論文等	<p>Murayama, Y., Estoque, R.C., Subasinghe, S., Hou, H., Gong, H., SIMWANDA, M., and ZHANG, X. 2016. Visualization of Land Use Changes in Major Asian and African Cities. Annual Report on the Multi Use Social and Economic Data Bank</p> <p>http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/megacities/data/2016_megacities_project_report.pdf</p>
備考	<p>ホームページ</p> <p>http://giswin.geo.tsukuba.ac.jp/mega-cities/</p>